

〔様式2〕

〇〇地区河川防災ステーション整備計画

1 対象河川

水系名 川水系(級)

河川名 川

2 設置位置 〇〇県 〇〇市 〇〇地先

3 防災関連施設整備の概要 (参考—1)

- ・河川における防災関連施設(側帯、ヘリポート、車両交換場所、水防倉庫等)の現在の整備状況
- ・河川防災ステーション及び河川におけるその他の防災関連施設の今後の整備計画

4 設置位置の選定に関する事項の概要

- ・河川の概要(堤防等の整備状況)
- ・重要水防箇所の状況(堰、橋梁等の工作物の状況、破堤、漏水、法崩れの実績箇所、旧川締切箇所等) (参考—2)
- ・過去の洪水時の被災状況 (参考—3)
- ・破堤氾濫した場合に予想される被害の状況 (参考—4)
- ・水防活動時及び緊急復旧活動時に確保可能な輸送路の状況
- ・河川を軸とした文化活動の状況

5 河川防災ステーションの概要

- ・他の水防倉庫等の関連施設と河川防災ステーションの役割分担
- ・河川防災ステーションの概要(施設の内容、機能等) (参考—5)

6 河川防災ステーションの規模の算定根拠

- ・当該河川(または、周辺の同規模河川)の破堤時に使用された資材(鋼材、土砂、石材、コンクリートブロック、木材、蛇籠、土のう等)の量及び主要建設機械の量 (参考—6)
- ・河川防災ステーションの施設規模の算定根拠等 (参考—7)

7 工程計画 (参考—8)

〔参考—1〕

河 川 に お け る 防 災 関 連 施 設

(1) 現在の整備状況

種 別	所 管	箇所数	整備内容(規模、数量等を記入)
側帯			
ヘリポート			
車両交換場所			
水防倉庫			

(2) 今後の整備計画

種 別	所 管	箇所数	整備内容(規模、数量、時期等を記入)
側帯			
ヘリポート			
車両交換場所			
水防倉庫			

〔参考—2〕

重 要 水 防 箇 所 の 状 況

(1)堤防の状況

種 別	左 岸		右 岸		合 計	
	箇所数	総延長	箇所数	総延長	箇所数	総延長
A(水防上最も重要な区間)						
B(次に重要な区間)						
C(やや重要な区間)						

(2) 工作物の状況

種 別	名 称	位 置	重要水防箇所とした理由	箇所数合計
堰				
橋 梁				

(3) 被災実績

種 別	洪水発生 年 月 日	位 置	箇所数合計	備 考
破 堤				
漏 水				
法 崩 れ				

(4) その他

	位 置	延 長	備 考
旧川締切箇所			

〔参考—3〕

過 去 の 洪 水 時 の 被 災 状 況

洪水発生 年 月 日	人 的 被 害			浸 面 水 積	浸水家屋数		被害額	備 考 〔その他特記 事項を記入〕
	死 者	負 傷 者	行 方 不 明		床 上	床 下		

水害状況写真、浸水状況図等を別途添付

〔参考—4〕

破堤氾濫した場合に予想される被害の状況

氾濫面積	浸水家屋数	被災人口	被 害 額	備 考(検討条件等)

〔参考—5〕

河川防災ステーションの概要(施設の内容、機能等)

種 別	面 積	備 考(施設の内容、機能等)
(全体面積)		

〔参考—6〕

当該河川(または、周辺の同規模河川)の破堤時
に使用された資材の量及び主要建設機械の量

(1) 破堤時の状況

洪水発生 年 月 日	破堤位置	破堤延長	備 考

(2) 破堤時に使用された資材の量及び主要建設機械の量

破堤時に使用された資材の量			破堤時に使用された主要建設機械の量		
種 別	数 量	備 考	種 別	数 量	備 考
鋼材			ブルドーザー		
土砂			バックホー		
石材			ダンプトラック		
コンクリート ブロック					
木材					
蛇籠					
土のう					

〔参考—7〕

河川防災ステーションの施設規模の算定根拠等

種 別	規 模 (備蓄予定量等)	算 定 根 拠 (算 定 式 等)
(全体面積)		
(全体土量)		

規模の算定にあたり、他の防災関連施設と関連する場合はその関係を記載すること。

〔参考—8〕

工 程 計 画

	工 種	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度
河 川 管 理 者							
市 町 村 等							

〔参考—9〕

水 防 セ ン タ ー の 概 要

1 水防センターの概要

2 過去の洪水時の水防活動状況

洪 水 発 生 年 月 日	出 動 延 人 数	実施した主な水防工法		備 考 (浸水面積、浸水家屋数等)
		名 称	実施箇所数	

- 1) 水防活動状況写真、氾濫状況写真(航空写真等)を別途添付
- 2) 平面図(水防活動実施箇所、氾濫区域)を別途添付

〔参考—10〕

河 川 事 業 の 概 要

- | | | |
|--------|---|--|
| 1 事業名 | : | |
| 2 事業年度 | : | 平成 年度 ~ 平成 年度
(事業費内訳) |

〔参考図—1〕

位 置 図(1 / 50,000)

- | |
|--|
| (1) 1 / 50,000の縮尺で河川防災ステーション整備位置、防災関連施設、重要水防箇所、破堤氾濫した場合に予想される区域、輸送路と周辺を含む範囲が示される地形図を用いる。 |
| (2) 記入事項 |
| ・ 河川防災ステーションの整備位置を記入 |
| ・ 防災関連施設(側帯、ヘリポート、車両交換場所、水防倉庫等)を記入 |
| ・ 重要水防箇所の状況(破堤・漏水・法崩れの実績箇所、旧川締切箇所等)を記入 |
| ・ 破堤氾濫した場合に予想される区域を記入 |
| ・ 水防活動時及び緊急復旧活動時に確保可能な輸送路を記入 |

〔参考図—2〕

平 面 図(1 / 〇〇〇)

- | |
|---|
| (1) 1 / 2,000程度の縮尺で河川防災ステーション整備範囲が示される図面を用いる。 |
| (2) 記入事項 |
| ・ 河川防災ステーションの施設配置等を記入 |

〔参考図—3〕

河川防災ステーション標準横断図(1 / ○○○)

- (1) 1 / 100 ~ 1 / 1,000の縮尺で河床(高水敷がある場合は高水敷)から河川防災ステーションを含む必要な範囲で作成する。
- (2) 原則として標準的な箇所を1箇所とするが、横断形が著しく変わる場合には複数断面とする。
- (3) 記入事項
 - ・ 現況堤防
 - ・ 計画堤防定規
 - ・ 河川防災ステーション 等

〔参考図—4〕

水 防 セ ン タ ー 計 画 図

記入事項

- ・ 水防センターの平面図、等

〔参考図—5〕

イ メ ー ジ パ ー ス

- ・ 河川防災ステーションのイメージパース

〔添付図書〕

- ・調整状況について市町村等と取り交わした文書